

〔学生作品〕

幼児オペレッターグループ習作

赤い帽子・三幕

—あまん・きみ子原作—

指導・監修 中村正以先生

台本・音楽 青木園美・荒井美奈子

有村浩子・岩切みどり

岩淵悦子・遠藤光子

(昭和56年3月卒)

〈時〉 ある秋の日

〈所〉 林の中

〈出てくる人, 物〉	女の子	1
	狐の親子	4
	兎の親子	5
	リス	10
	こびと	10
	風の子	3

ナレーター

第一幕

幕があくと、赤い帽子をかぶった女の子が上手から歌をうたいながら登場、その下手で風の子達が何やらヒソヒソ話をしている。

女の子 買ってもらったばかりの赤い帽子。とっても素敵でしょう。カゼをひかないようにって、お母さんが私にプレゼントしてくれたの。
うへきょうは風がとっても強いわ!!

A (赤い帽子) ——女の子・独唱

- わたしの素敵な この帽子
とっても似合うわ 赤い色
母さん からの プレゼント

寒さに だって 平気です

2. 赤い かわいい この帽子
とつても 大事に しているの
誰から さきに 見せよかな
みんなも きっと ほめるでしょう

女の子は寒そうに歩き出す。

その時、下手から風の子達が登場し、女の子にいたずらっぽく風を吹きかける。

風の子・1 見て見て、この子。かわいい帽子かぶっているよ。

ク ・2 ほんとだ。赤い帽子だ、かわいいなあ。

ク ・3 こんな素敵な帽子始めて見たよ。

そうだ（手を打って）森のみんなにも見せてあげよう。

風の子・全員 （拍手しながら）賛成!! 賛成。

風の子達、女の子のまわりを踊りながら帽子をもって行ってしまい、下手に退場する。

女の子 あっ!! わたしの大切な帽子が……。

どうしよう、せっかく買ってもらったのに。お母さんに叱られちゃうわ!!

早くさがしに行かなくっちゃ。

女の子は下手に姿を消す。入れ違いに狐の親子が上手から登場し、赤い帽子を見つける。

子 狐・1 あれ? こんな所にお皿が落ちているよ。

狐の母 まあ、これは素敵な赤いお皿ねエ。

子 狐・2 それにずいぶん大きいよ。このお皿だったら、おいしいお菓子やキャンディーが
いっぱいはあるよ。

狐の父 ずいぶん、立派なお皿じゃないか。

家に持って帰ることにしよう。

B (赤いお皿)——狐の親子・斉唱

1. かわいいきれいな お皿です
赤い赤い お皿です
栗や団栗 いれて置く

みんなで仲良く 使いましょう

狐の親子は下手に姿を消す。

暫くして風の子達，上手より赤い帽子を持って登場する。

風の子・1 狐さん達，よろこんでいたね。

風の子・2 うん。よかったね。

風の子・3 それじゃあ，こんどは兎さん達に見せてあげよう。

風の子達舞台中央に赤い帽子を置き，下手に姿を消す。

間もなく，兎の親子がピョンピョン上手よりはねてくる。兎の親子が赤い帽子を見つける。

子 兎・1 あれ!! 何か落ちてるよ。

子 兎・2 赤い籠みたいだよ，お母さん。

兎の母 まあ，ほんと。素敵なお籠だわ。

子 兎・3 この赤い籠にリンゴや蜜柑なんかをいっぱい入れようよ。

兎の父 それじゃあ，これからリンゴや柿をさがしに行くことにしよう。

C (赤い買物籠)——兎の親子，斉唱

とってもきれいな 赤い籠
リンゴや蜜柑や 柿などを
毎日たくさん いれられる

兎の親子はピョンピョンはねながら下手に姿を消す。入れ違いに風の子達，上手より赤い帽子を持って登場する。

風の子・1 兎さん達，よろこんでいたね。

お次は，リスさん達だよ。

〃 ・2 リスさん達もよろこぶといいね。

〃 ・3 さあ，早くしないと，リスさん達がやってくるよ。

風の子達，舞台中央に赤い帽子を置き，こぼしりで下手へ退場する。暫くしてリスの間，みんなでおしゃべりをしながら，上手より登場し，赤い帽子を見つける。

リス・1 あら、これ何かしら…あっ、わかった、赤いかわいいスカートよ。ちょうどよかったわ。

わたし、この赤いスカートをはいてクリスマス会の時に歌をうたいましょう。

リス・2 わぁ～赤いスカート素敵だわ。

リス・3 どおしたんだよ。その赤いスカート。

リス・4 クリスマスだから、きっと誰かがプレゼントしてくれたんだよ。

リス・5 きっと、そうだわ。

リス・6 赤いスカート。よくにあうよ。

リス・7 素敵だわ、うらやましいわ。

リス・8 ほしいなあ。

リス・9 ねエ、ねエ。わたしにも貸してよ。

リス・10 ほんとうに、素敵なプレゼントだねエ。

クリスマス会が楽しみだ。

D (赤いスカート)——リスの仲間・斉唱。

1. どこからきたの スカートさん
迷子になって 来たのかな
赤いかわいい スカートさん
2. もうすぐ楽しい クリスマス
みんなでパーティ いたしましょう
このスカートで 踊りたい

リスと仲間は下手に姿を消す。

第 二 幕

ナレーター ところが、それから何日かしてリスさんが赤いスカートを干していたら、風が強
く吹いてきて、赤いスカートはどこかに行ってしまいました。

上手より赤い帽子を持った風の子達が登場する。

風の子・1 こんどもうまくいったね。

風の子・2 最後は、誰にしようか？

風の子・3 う～ん（3人で考えて腕を組む）こびとさん達はどうか？

風の子達、舞台中央に赤い帽子を置き、下手へ退場する。暫くしてこびと達が上手より

登場し、赤い帽子を見つける。

こびと・1 なんだいこれ。

こびと・2 赤いものだよ。

こびと・3 あたたかそうね。

こびと・4 とても大きいよ。

こびと・5 これ、わたし達のお家にちょうどいいわよ。

こびと・6 そうしようよ。

こびと・7 わたし達の新しいお家よ。

こびと・8 ぼく達の新しいお家だ。

こびと・9 雪が降っても、もう大丈夫だね!!

こびと・10 さあ、みんなで運ぼうよ。

こびと・全員 よいしょ。よいしょ。

E (愉快なこびと)——こびと全員・斉唱

1. ぼくらは こびと 愉快なこびと

さあ さあ うたお みんなでうたお
帽子のまわりで うたおうよ

2. ぼくらは こびと 愉快な こびと

さあ さあ 踊ろ みんなで踊ろ
帽子のまわりで 踊ろうよ

こびと達を舞台中央に残したまま幕。

第 三 幕

ナレーター そしてその夜、雪がたくさん降りました。

翌朝、雪はすっかりやみました。

その時、北の林、南の林、東の林に楽しそうな歌がひびきわたりました。

その歌声をきいて、女の子、狐の親子、兎の親子、リス達がまんなか広場で出会いました。

幕が開くと舞台中央に女の子を中心にして、狐の親子、兎の親子、リス達が集まっている。

女の子 狐さん、兎さん、リスさんもきいたの？
 狐の親子 }
 兎の親子 } (声をそろえて) うん、きいたよ。
 リス達 }
 女の子 向こうに見えるものは何？赤い花かしら？
 ねエ、みんな行ってみましょう。

上手よりの赤い帽子の方へみんなでかけよる。

女の子 まあ、わたしのなくした赤い帽子だわ!!
 狐 ・ 1 ちがうよ、ぼくらのお皿だよ。
 兎 ・ 3 ちがうわ、わたし達の買物籠よ。
 リス ・ 1 わたしの素敵な赤いスカートよ。
 女の子 あら、でもおかしいわ、窓があるわ。
 狐の親子 }
 兎の親子 } あっ、本当だ!!
 リス達 }

そこでみんなが赤い帽子の中をのぞいてみると……10人のこびと達が楽しそうに歌をうたい、踊っていました。

F (赤い帽子のお家)

1. うれしい うれしい うれしいね
 雪がふっても 大丈夫
 赤い お家が あるんだもん
 中はホカホカ あたたかい

2. 赤いお家は 素敵だな
 お花やお菓子や くだものの
 かおりがいっぱい しみている
 みんなで楽しく 踊りましょう

こびと達が歌をうたい終ると女の子、狐の親子、兎の親子、リス達、みんなで顔を見合わせうなずきながら……

女 の 子 }
狐 の 親 子 } そうだったのか!!
兎 の 親 子 }
リ ス 達 }

女の子 わたしがなくした赤い帽子は 狐さん、兎さん、リスさん、みんなで順番に使っていたのね。そして、今度はこびとさん達のお家になっていたなんて……クスウ……。

さあ、みんな静かに シィッ～

女の子、狐の親子、兎の親子、リス達、唇に人差し指を当てて「シィッ～」といいながら下手に退場し始めたところで、

〔注〕 1. 曲譜は省略。

— 幕 —

2. 台本中のゴシック活字は演出事項である。

〔寸 評〕

この作品は、私のゼミに於て、領域総合関連保育研究の一環として、幼児のオペレッタを、6人1組のグループで習作させた中の一つである。

もちろん、素材の選定から、台本の作成・作曲に至るまで学生の手になったものである。

幼児のオペレッタといえ、年長用のものが多いのであるが、この作品は年中（年少にも）組に適するのがよい。

原作のことにはなるが、主題や筋がおもしろいし、夢があってよい。手法は他にも同工異曲のものが見受けられるが……。兎に角、この素材を選んだ、このグループの選択眼は賞するに値する。

台本のまとめ方も手際よく、幼児にもわかり易く作られている。

うたの数（6曲）も丁度よいし、各場面に応じて変化もあり、よく表現されている。

作曲は“未だし”の観があるが、学生作品としては良好であろう。

蓋し、労作といえよう。

（中 野 正 以）